

旭陵関西

発行人 旭陵同窓会関西支部長 杉 顕 紹
印刷所 富士精版印刷(株) TEL. 06-6394-1181



旭陵同窓会関西支部長 杉 顕 紹 (43期)

旭陵同窓会関西支部総会を迎えて

旭陵同窓会関西支部の会員の皆様、お変わりありませんでしょうか。平素は同窓会の活動にご理解とご支援をいただき厚くお礼申し上げます。私は、昨年八月三十一日に開催された総会において関西支部の支部長という大役を仰せつかりました。今後とも微力ながら関西支部の発展に全力を尽くしていきたいと思っておりますので、よろしくお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

今年度の会報の記事にもありますように関西支部は平成六年に第一回の設立総会を開催し、以来会員の皆様のご支援と、歴代の役員のご尽力によりその活動はますます活発になってまいりました。現在では、定例の総会を始めとし、春秋に二回開催されるゴルフコンペとハイキング、冬の日帰り旅行、会報の発行など会員の皆さんの交流の場として楽しんでいただいております。

私が同窓生の存在を初めて意識しましたのは、高校を卒業した年、大学受験の時でした。当時、私が受験した大学では在学中の西高の先輩が後輩の受験生を下宿に泊めて受験させるという慣行があり、私も試験日を挟んで約一週間先輩

の下宿に住まわせてもらいました。先輩はその間下宿を後輩に明け渡しているのですが、時には顔を出して受験生の夕食に付き合ったり、私などは試験の初日の夕方にビールまで御馳走になったりと、先輩が安心して受験できるように大変気を使ってもらいました。初めての見ず知らずの地で受験する後輩にとっては、同窓の先輩は本当に心強い存在でした。

これは当時ののどかな時代の一面ともいえませんが、最近はこのような先輩、後輩の関係というのも薄れてきているように思います。関西支部も若い会員に行事に参加していただくことを課題に掲げておりますが、十分な成果を挙げざるまでには至っておりません。同窓会という「場」は会社や地域社会とは違って、場合によっては

六十歳以上も年齢差のある会員が、かつて西高で学んだという経験を共有して集う場です。そこでは私が体験したように先輩達は後輩のことを気にかけて力になりたいと思ひ、また、若い人から話を聞きたいと思ひつづけています。若い会員の皆さん、今年の総会に参加してみませんか。そしてそこで感じられる楽しさ、ほっとした感覚、ゆつたりとした時間をぜひ実感してみてくださいと思います。

平素は多大なご指導ご支援を賜り厚くお礼申し上げます。また、母校九十周年の年に当たり、同窓会の皆様からは老朽化した校旗を新調していただける運びと成り、重ねてお礼申し上げます次第です。昨年はかつて無いほどの部活動の大活躍が見られ、学校も大いに盛り上がりを見せました。文化祭、体育大会など学校行事も活発で、はじめのついた活動が行われており、後輩たちの若さと悩みとエネルギーにあふれ活気がみなぎっています。



山口県立下関西高等学校校長 木村 峰 康

旭陵同窓会関西支部の皆様にはお元気にご活躍のこととお喜び申し上げます。平成二十一年度総会の盛大な開催、誠におめでとうございます。会報の発行も第十四号となり、心温まる情報交換や会員相互の親睦など活発に支部の活動に取り組んでおられることは、ご同慶の至りとお喜び申し上げます。と共に心から敬意を表します。



旭陵同窓会会長 前田 日出三 (31期)

ご挨拶

平成二十一年度旭陵同窓会関西支部総会が、盛大に開催されます事を心からお慶び申し上げます。今年度は旭陵創立九十周年の節目に当たります。その記念事業のひとつとして去る二月十日、昨年関西支部総会特別講演の講師、元最高裁判所長官、町田顯氏をお招きして、旭陵同窓会主催、下関市共

催で下関市民会館大ホールにて「下関育ちの元最高裁判所長官が語る、遠きなありて想うわが故郷そして最高裁判所長官の仕事と生活」の演題で講演会を開催しました。大盛況でした。多くの人が感銘を受けられた様子でした。さて、今年で私が同窓会会長の重任を仰せつかって二期四年になります。今年の旭陵同窓会総会を最後に退任する事になりました。退任にあたり数々の不行き届きな点があったことお詫びいたしますと共に、在任中に賜りました皆様からのご厚情とご協力に對し幾重にもお礼申し上げます。在任中

旭陵同窓会関西支部の皆様にはお元気にご活躍のこととお喜び申し上げます。平成二十一年度総会の盛大な開催、誠におめでとうございます。会報の発行も第十四号となり、心温まる情報交換や会員相互の親睦など活発に支部の活動に取り組んでおられることは、ご同慶の至りとお喜び申し上げます。と共に心から敬意を表します。

旭陵同窓会関西支部の皆様にはお元気にご活躍のこととお喜び申し上げます。平成二十一年度総会の盛大な開催、誠におめでとうございます。会報の発行も第十四号となり、心温まる情報交換や会員相互の親睦など活発に支部の活動に取り組んでおられることは、ご同慶の至りとお喜び申し上げます。と共に心から敬意を表します。

旭陵同窓会関西支部の皆様にはお元気にご活躍のこととお喜び申し上げます。平成二十一年度総会の盛大な開催、誠におめでとうございます。会報の発行も第十四号となり、心温まる情報交換や会員相互の親睦など活発に支部の活動に取り組んでおられることは、ご同慶の至りとお喜び申し上げます。と共に心から敬意を表します。

旭陵同窓会関西支部の皆様にはお元気にご活躍のこととお喜び申し上げます。平成二十一年度総会の盛大な開催、誠におめでとうございます。会報の発行も第十四号となり、心温まる情報交換や会員相互の親睦など活発に支部の活動に取り組んでおられることは、ご同慶の至りとお喜び申し上げます。と共に心から敬意を表します。

旭陵同窓会関西支部の皆様にはお元気にご活躍のこととお喜び申し上げます。平成二十一年度総会の盛大な開催、誠におめでとうございます。会報の発行も第十四号となり、心温まる情報交換や会員相互の親睦など活発に支部の活動に取り組んでおられることは、ご同慶の至りとお喜び申し上げます。と共に心から敬意を表します。

関高 平成21年度 旭陵同窓会関西支部総会案内

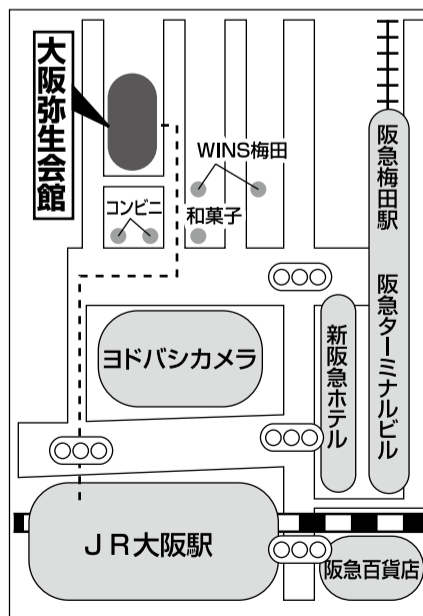
- 日時：平成21年9月6日(日) 10:30~15:00
- 場所：大阪弥生会館 大阪市北区芝田2丁目4-53 ☎06-6373-1841 (JR大阪駅、阪急梅田駅、地下鉄梅田駅より徒歩5分)
- 来賓：前田同窓会会長、本部役員、木村校長先生
- 会費：8,000円(家族3千円)
- 式次第：10:30~11:00 総会
11:00~12:30

軽装・ノーネクタイで
ご出席下さい

バンド KOKO'O による HAWAIIAN 演奏

- ・HAWAIIAN ムドレー
- ・HAWAIIAN DANCE
- ・CLASSIC ムドレー

12:30~15:00 懇親会



バンド KOKO'O のプロフィール



写真左から
りな / Key Board, ゆうき / Ukulele & Vocals
かな / Ukulele & Vocals & Flute, まつき / Guitar & Vocals
みのり / Bass & Vocals

【経歴】
一九八五年に、HAWAIIAN KISS を設立
一九九五年に阪神淡路大震災のため解散
一九九九年に HAWAIIAN KOKO'O を結成
二〇〇八年メンバーを一新 KOKO'O が誕生し
ました。メンバーの女性は全員音楽大卒です。

【目指していること】
ハワイの(ナ・レオ・ピリメハナ)を目標に
コーラス中心のバンドを目指しています。

【公式ホームページ】
<http://www.geocities.jp/80/ji1935/index.html>

軽装・ノーネクタイで
ご出席下さい

※同窓生をお誘い合わせの上是非ご出席下さい。(ご家族の参加も歓迎)
※つり銭のいらぬようご準備下さい。
※なお、同封葉書にて出欠の連絡を7月31日までにお願いします。
(欠席の場合も名簿整理上必ず返信をお願いします。無回答はやめましょう。)
※回答後、出欠等の変更がある場合は、事務局まで必ず連絡して下さい。

「旭陵同窓会関西支部」ホームページ <http://page.freett.com/kyokuryo/index.htm>

平成二十年度総会の状況

再認識「下関への郷愁と母校への愛情」

当番監事 中嶋千登世(五十五期)



形ばかりの当番幹事でしたが、支部長さんを始めとして常任幹事の皆様、たくさんの先輩後輩のおかげで、無事、総会のお手伝いを終えることができて、ほっとしています。

私は、高校時代、勉強はそこそこ、グルメと読書に夢中、硬式テニス部(当時は、同好会)に所属し、週末はサテンドールというジャズ喫茶で過ごしていました。総会で、テニス部が、全国大会に出場したという快挙を耳にし、大変嬉しく思いました。大人になってからも、家事はそこそこ、ワインとグルメと時事英語に夢中、ママさんテニスクラブに所属し、たまに家族で、下手の横好きジャズセッションを楽しむ日々です。

今年の総会は、最高裁判所長官を終えられた西高三十二期生の町田 顯氏の「裁判員制度の創設と最高裁判官の日々」という講演で、年間六千七千件の裁判事務などの通常業務以外に、三権の長として、新年の儀などの皇室行事、国賓の歓迎会などの各種式典への出席、また国際会議参加など、ご多忙を極められたそうです。公邸での生活は、常時SPの警護がついており、カラオケでもゴルフでも、ちょっと困られたエピソードなど不自由な生活ぶりを、ユーモアを交えながら、穏やかな口調

候補者を選ばれている方もいらっしゃるかもしれません。メディアや、感情に流されることなく、しっかりと、社会情勢を見る目や感受性を育むように、暮らしていきたいと思いました。

また、興味を惹いたのは、総会でいただいたパンフレットの中に入っていた、ふるさと下関にUターンしませんか?というセミナーの案内です。年に三回ほど、下関に帰省してはいますが、最近、特にしみじみと懐かしさを感じる、関門海峡の眺めや、唐戸市場のお魚、山陰海岸の磯の香り。きつと誰しも、当番幹事が回ってくる頃には、下関への郷愁と母校への愛情を再認識することと思います。今後も、旭陵同窓会が、ますます盛会になって、人生を豊かにするネットワークに発展していきますように、心から願っています。

元最高裁判所長官 町田顯氏の講演を拝聴して



重松フジ子 (32期)

結婚と同時に神戸に住まい、振り返れば今年には五十周年。平凡な主婦をしてきましたので同窓会には余り積極的ではありませんでしたが、今回は同期の「町田顯さん」が来阪されるからお誘いを受け参加しました。各界でご活躍の先輩、後輩の皆様、大勢のお集まりで大盛況の会でした。私の拙い文章ですが、当日の町田顯さんのお話を中心に紹介させていただきます。町田顯さんは平成十四年から十八年までの四年間、第十五代最高裁判所長官をつとめられた方です。総会後の特別講演で、「最高裁判所長官を終えて―裁判員制度の創設と最高裁長官の日々―」と

という演題で、長官だった頃のお仕事の内容や生活面のことを分かりやすく話されました。最高裁判所長官の通常のお仕事としては、十五人の裁判官が五人づつ三班に分かれ、一年間に約六千件の事件を審理される小法廷と、憲法解釈など重要な事案を審理する裁判官全員参加の大法廷があるそうです。大法廷の処理される事案は年間八件くらいと話されました。

また、三権の長として皇室行事への参加が何度もあったとのこと。あるいは渉外事務として国際会議への出席や、外国との相互訪問で外国のお客様をお迎えするお仕事などもあつて、会話にご苦労されたことなども話されました。生活面では警備が大変なので、公邸住居で少々不自由な思いをされたことなど披露されました。

続いて裁判員制度が平成二十一年より始まることについて、裁判員制度は国民から選ばれた裁判員が刑事裁判に参加する制度で、六人の裁判員と三人の裁判官が、被告人が有罪か無罪か、有罪の場合どのような刑にするかを判断することということ。国民が参加することによってひとりひとりの感覚や経験に根ざした、新鮮で多様な視点ももたらせるため、この制度の創設になったと話されました。テレビや新聞で時々報道されますが、知らない世界のお話を易しく分かりやすくお話くださり、参加者一同熱心に聞き入り、いろいろとお勉強になりました。

第三部の懇親会では久しぶりにお会いになった同窓の皆様、活気に満ちていました。九十五人もの参加者、閉会前の校歌斉唱はエネルギーギッシュで旭陵同窓会の力強さを感じました。今後も旭陵同窓会関西支部が隆盛な会となりますようお祈り申し上げます。

当番幹事のリハーサル



中谷 幸一 (56期)

とある日曜日、いつものよう居間でのんびりとメジャーリーグ中継を見てみると、休日の朝にしては珍しく携帯電話が鳴っている、西高同期の宮原氏からだった(ちなみに今でこそ俊敏さとは無

縁に見えるが、西高時代は我がハンドボールチームの名?迷ゴールキーパーとしてならして、相手チームのシュートを手で足でそして顔面で跳ね返してくれたお陰で、西高は前年度全国大会3位の下関中央高校を破り、新人戦市内大会で優勝することができました。当時キャプテンの私は翌週の全校集会で高校生活最初で最後の表彰を受けました。顧問は小金治こと西田昇先生でした。ハンドボール

と受験勉強に明け暮れた高校生活でしたが、何とか同志社大に入学。そのまま大阪で就職して三十年、現在はアパレルのオンワードでユニフォームの企画を担当しております。入社当時は百貨店を担当し、土日・益暮れの区別なく、同窓会にも参加できませんでしたが、このところ五年連続で参加し四名の同級生をはじめ、数多くの諸先輩方々と交流を深めることができ、非常に感謝しております。) あれ?確か?まだ早い?なんですか?飲みすぎてボケた頭に宮原氏のクールな声「梅田やけど、今どこ?」ああ、やっぱりか:「ゴメン、時間勘違いしてた、先行ついでして」慌てて箕面の自宅を飛び出して弥生会館へ、旭陵同窓会に駆けつけたのでした。 なんとか第二部の特別講演会に滑り込み、前最高裁長官、町田顯氏の現役当時のエピソードで睡魔を吹き飛ばしつ、ようやく午後部の部、さあ呑むぞと意気込んでいたところに今度は大役がまわってきました。なんでも今年の当番幹事が女性の方一人だけなので、抽選会の司会を手伝って欲しいとのこと「ええーっ!実はそんなのあまり得意じゃないんですけど:」阿部さんの突然のご指名を恨みつつ、ぶっつけ本番で、どなたに何を差し入れて戴いたのか不明なままなんとなく流れてやっつけてしまいました。賞品のワインを二本いっぺんに渡したり、寄贈者の紹介を忘れたり、不手際の多かつた事をこの場をおかりしてお詫び申し上げます。一緒に司会をした中嶋先輩、頼りにならなくて申し訳ありませんでした。 さて来年は我が五十六期の本番の当番幹事の年です。リハーサルも済んだことやし、福引抽選会の司会はお任せ下さい。来年の皆様のご出席お待ちしております。

<p>医療法人 祐生会</p> <h2>みどりヶ丘病院</h2> <p>(医療機能評価認定病院)</p> <p>診療科目: 内科、消化器科、循環器科、小児科、外科、 脳神経外科、整形外科、眼科、耳鼻咽喉科、歯科、 理学診療科、麻酔科、放射線科、人間ドッグ</p> <p>ベッド数: 329床</p> <p>理事長 甲斐敏晴 (31期)</p> <p>〒569-1121 ☎072-681-5717(代)</p> <p>高槻市真上町3丁目13番1号</p>	<h2>みどりヶ丘介護老人保健施設</h2> <h3>グループホーム みどりヶ丘荘</h3> <p>ベッド数: 入所107床・通所50名</p> <p>理事長 甲斐敏晴 (31期)</p> <p>〒569-1041 ☎072-692-3111(代)</p> <p>高槻市奈佐原4丁目7番1号</p>
---	---

平成20年度
第15回総会
 於:大阪弥生会館
 平成20年8月31日(日)



中嶋さん開会宣言



町田 顯 元最高裁判所長官 講演
最高裁長官の日常と苦勞話について
私たちの知らない裏話に盛り上がりました。



安野支部長 活動報告



木村校長先生 近況報告



総会参加者一同



町田元最高裁長官を囲んで



天下第一関の前で集合写真(若手一同)



懐かしい仲間と再会して
懇親会では懐かしい話に花が...



参加者全員で校歌斉唱



二次会

社会福祉法人 みどりヶ丘会

理事長 甲斐敏晴 (31期)

グリーン特別養護老人ホーム

入所70名

〒569-1041 高槻市奈佐原4丁目7番15号
 ☎072-690-3331

グリーンケアハウス

入所50人

〒569-1041 高槻市奈佐原4丁目7番3号
 ☎072-690-3561

支部行事報告

ハイキング

飛鳥万葉の歴史街道散策



唯岡 和夫 (45期)

朝十時に、近鉄橿原神宮前に集

合した時は、ドシャブリの雨でし

この後、《飛鳥寺》に廻って案

と幹事さんは胸をなでおろしてい

た。《県立万葉博物館》には当時

午後からは、《酒船石》や、《橘

寺》を見学して、最後になぜか酒

第十五回旭陵ハイキング



三原 恒美 (34期)

「山歩き」を常としてきた私に

一つは故郷を離れた地で、同期や

三つ目はハイキングの終わりに

天気は予報に反して当日晴天に

する。(私は飲兵衛なのでなおさ

今回、旭陵のハイキングには「雨

のように咲き揃い、その桜を眺め

ハイキングコースは石上神宮や

その楽しみとは…

ゴルフ

第十七回安田賞を受賞して

山田浩幸(五十六期)

年二回の関西支部会員の親睦ゴ

最近参加者の数が減り少し寂し

い感じもあるものの、一日先輩・

コースは距離的にはさほど長

また、シングルも百獣(百十)

味鉄自慢の神戸牛ステーキの味

我こそはと日々鍛錬されている

「初めての味鉄賞に歓喜」

阿部紀一郎(五十四期)

旭陵コンペには精動賞ですが、過

これまでは、ハイキングと同様

開会にあたり、杉支部長から「今

言。優勝は狙いたいし、味鉄賞は

さて、キャディは若い男のこ

三バット続出でもアウトは

午後からの難しい十二番は二打

ものだ。でも五十で上がった

さて、表彰式です。優勝は高津

さん(四十期)、準優勝は福田

に恵まれず、堂々の五位。



安田賞の神戸牛

お知らせ

第十九回ゴルフコンペの御案内

日時 十月二十四日(土)

申込先 福田(三十五期)

山田(五十六期)

第十六回ハイキングの御案内

日時 十一月十五日(日)

場所 箕面方面(予定)

申込先 阿部(五十四期)

山田(五十六期)

第七回日帰り旅行

日時 来年一月三十一日(日)

幹事 来島(五十期)

村上法律事務所

弁護士 村上 充 昭 (39期)

弁護士 村上 恵美子

事務所 〒530-0047 大阪市北区西天満4丁目6番19号

万一ガスが漏れたとき、ガス漏れ検知警報器が発報しなかったら、

有限会社 西村電機サービス

取締役会長 西村 勲 (33期卒業)

〒599-8253 大阪府堺市中区深阪548

TEL(072)236-9508 FAX(072)230-2204

携帯 090-1447-8368

URL : http://www.nds-mente.co.jp

E-mail info@nds-mente.co.jp

ご家庭からコンビニートまで明日の安全を見つめています。

第14回 ハイキング

飛鳥万葉の歴史街道散策
2008年11月16日(日)
参加者26名
天気雨のち晴れ



脇本酒造前集合写真



集合・予定説明



昼食



昼食全景



小雨も上がり



亀石前(亀は万年)

第17回ゴルフ大会



第17回ゴルフ 参加者一同

第18回ゴルフ大会



第18回ゴルフ 参加者一同

第15回 ハイキング

奈良
「山辺のみち(天理~柳本)」
2009年4月5日(日)
参加者24名 晴天



衾田陵集合写真



竹之内環濠



長岳寺裏門



昼食状況(お元気ですな)



露天販売(イチゴあいわ)



街道のハイキング状況(きれいな桜)



もうすぐ弁当

片山クリニック

院長 片山 啓 (48期)

〒657-0846 兵庫県 神戸市灘区岩屋中町4丁目 2番7号
TEL 078 (802) 5990 神戸市委託 病児保育室プエリ 併設

医療法人

なかじま整形外科

●リウマチ科 ●リハビリテーション科

院長 中 嶋 洋 (49期)

〒569-0814 高槻市富田町3丁目1番10号
☎ 072-690-3230 FAX 072-690-3231



「源助」前にて

**第6回
日帰り旅行**
2009年2月1日(日)
於 城崎・佐津



佐津駅ホームにて

満足一杯の「酒・カニツアー」

藤元 良哲(四十四期)

今回のカニツアーは「その時」に始まりました。縁というか出会いとは不思議なものです。私は昨年六月の異動で再び大阪に戻ってまいりまして、今年一月業界の新年賀詞交歓会に出席したところ、たまたま私の前に座られたのが支部長の杉さんでした。お互いびっくりして会話が始まりました。最近の厳しい経済状況から旭陵会の近況まで話しが弾みました。その後カニツアーの話題になり、お誘いをいただいた訳です。

私のツアーの楽しみはカニを食べることが目的ではありますが、城崎温泉の外湯めぐりも大変期待していました。ツアー当日は風も強く山陰の冬は寒そうで湯冷め防止のためフル装備で臨みました。また、初参加の私は初対面の方々に囲まれ少し緊張気味で大阪駅を出

温泉三味なはずが...

中野 光男(四十六期)

前日は有馬温泉で一泊、当日は城崎温泉で温泉巡りと、豪華な温泉三味を目論んでいましたが、城崎では湯冷めを気にして最後に風呂に入ろうと、ぶらぶらおみやげを求めてお店を歩き回っていたら中村さん、後田さん、阿部君らと出会い、「出石そば」の店に入ったが最後、地酒「香住鶴」を飲み交わし、議論が白熱してとうとう風呂に入る時間もなし。

昨年の総会の折りに同期の上村君に誘われ、今回初めて参加させて頂きました。別の旅行で前日有馬温泉に宿泊したため三田駅で乗り込んだところ、福田先輩と同期になり、いきなり日本酒で乾杯、このまま着いたらおいしいかには

発しました。

しかし車中に乗り込むや否や早速、幹事さんやお世話の方からお酒やつまみが配られ酒盛りが始まりました。まだ宝塚や三田からの合流もまだなのに。とにかく早朝から大阪帰着まで私のアルコール血中濃度はずっと高値を保ち続けました。おなかも一杯になり果たしてカニを食べる余地が残っていないのか心配でした。そのことを同席の方にお話すると別腹だから大丈夫ですよとのこと、さすがカニカニツアーに慣れて居られると感心させられました。

そのうち城崎駅に到着しました。厳寒の山陰なので雪景色を期待していたのですが、全く雪はありません。世界的な温暖化のせいでしょうか。城崎駅で列車を乗り換え佐津駅で民宿「源助」の送迎バスに乗り込みました。到着後、常連らしく皆さん慣れたものですぐにカニ食事会が始まりました。さすが毎年

食べられないのではないかと、同じく初参加の藤元さんと心配していましたが、さすがに佐津の料理はすばらしく、久しぶりに堪能しました。もちろんおみやげにそこで買い求めたかにも、家族に大変喜ばれ、まずは面目が立った次第。

帰途は疲れて車中で眠るのかと思いきや、ほとんど全員が盛り上がり、満員車両の他の乗客にさぞや迷惑をかけたのではないかと、我慢してくれたのか特にクレームもなく、無事帰宅できました。幹事さん、出席できなかつた来島さん、本当にお世話になりました。来年も宜しくお願ひします。



上: 蒸しガニ
右: 鍋を前にご満悦の中野さん



校歌斉唱 音頭藤元さん

訪れて好評なカニは何とも素晴らしい大変おいしくいただきました。質、量とも十分で、満足一杯でお酒もずいぶんすすみました。食事終了後久しぶりに皆で西高校歌を歌い、会が終了しました。その後各人それぞれ目的地へとちらばって行きました。私は温泉めぐりを選択し事前に決めておいた一番奥にある「鴻の湯」にまっすぐに行きました。いつもでしたらすぐに



カニ料理を満喫



仲良し4人組

服を脱ぎ湯船に入るのですが、今回は高アルコール血中濃度のままで、倒れたら皆さんに置いて行かれかねないと思い、まず一杯水を飲み、一服してから湯船に入りました。さすが雪国の温泉は大変熱くじつと我慢の子でありました。再び城崎駅に集合し、帰路につきました。車中に乗り込むと再び酒盛りが始まりました。暫くして縁というか出会いとは不思議なものです。今朝乗り合わせた社内販売のおねえさんに再会しました。行きの車中販売でアルコール類をすべて買って占めて、顔なじみになっていました。お陰で車中は盛り上がり楽しく過ごせました。最終目的地の新大阪駅に到着し解散となりました。お疲れさまでした。幹事さん、お世話していただいた皆さん有難うございました。

阿武山こどもクリニック

院長 岡本良三 (46期)

〒569-1041大阪府高槻市奈佐原2丁目3-22
TEL072(690)3225 FAX072(690)3226

おいしさの感動をお伝えする!!

黒毛和牛専門店
(神戸ビーフステーキ、しゃぶしゃぶ、焼肉)
(株) 味 鉄

〈直営レストラン〉
・舞子 ・三宮 ・本山 ・西宮 等神戸一円10店舗
・(東京)赤坂店
日本一の神戸牛で、ゆっくりグルメの世界をお楽しみ下さい。
お中元、お歳暮には地方発送もいたします。お気軽にご相談下さい。
常務取締役 舞子店長 **安田好幸** (43期)
舞子店 神戸市垂水区東舞子町2-21(JR舞子駅すぐ)
TEL 078-783-3520 アドレス <http://www.k-wind.ne.jp/ajitetsu/>

関西を離れて 関西を想う



廣瀬 千秋
(54期)

「笑い」の中においしい「食」

下関で生まれ育ち、東京で大学に通い、就職して、大阪に二度、転勤。この春、通算五年半住んだ大阪を離れて福岡に転勤となった。大阪でもっとも楽しかったのは、いわずもがな「食」である。食い倒れといわれるほど、いろんな食を、そしておいしいお酒をたくさんいただいた。いまさら大阪の食について書くのは気が引けるが、大阪人がこぞと教えてくれた店を通して、ナニワの食についての感想を述べたいと思う。

まずはお好み焼き。ある企業幹部が「食事でも」と誘ってくれたのが「味路庵」(東中浜)。店は正直言ってコテコテの雰囲気、背広でいるのが恥ずかしいくらい。かっこつけず気さくに、本当においしい店に誘ってくれるところが関西人のいいところで、何を食べてもうまい。しかも、経営者の夫婦がまたコテコテいい。店の人と会話を楽しむことも大阪ならではのろう。

ホテルマンに紹介してもらった「豚玉」(高津)も何度も通った。

入り口もさびれた喫茶店のようだが、メニューも豊富でワインも充実している。店名に惑わされるが、お好み焼きは最後の締めにてくだけでワインの飲める食堂といった雰囲気だ。気の置けない人と二、三人で行くなら「ながほり」(上町)、やや人数が増えたと「りき六」(上汐)がオススメ。こうした気楽なおいしい食にありつける店が多いのには感心してしまう。

日本酒をとことん飲みたいなら「おでん四季」(島之内)か「やまなか」(敷津西)。おでん四季のオーナーは全国の造り酒屋を訪ね歩く研究家で、いろんな日本酒が飲める。さすが大阪の周辺、西宮や京都伏見などには造り酒屋が多いせい、日本酒を注文する人が多かったように思う。

寿司なら「えんどう」(野田)。ここは中央卸売市場のなかにあり、

「楽園の大阪」に別れ



中村 秀明
(54期)

大阪市福島区の聖天通り商店街にほど近いマンションに住んで二年。わが妻は、なじみのタコ焼き店や商店、大家さんとの別れのあいさつでたびたび涙した。なぜか大阪に偏見のあった高知生まれの妻だが、半月もせずに「ここは楽園よ。楽しいわ」と声を弾ませ、大阪暮らしにどっぷりつかった。

これといったきつかけはない。「オチがない話を最後まで辛抱強く聞いてくれた」とか、「ボケやツッコミについても私ら大阪の人間は養殖もので、天然には勝てませんだって」とか、半分おちよくられながらも、包容力のある、実にいい湯加減の大阪に次第に浸っていったのだ。そのうち商店街を

5貫ずつのつかみ寿司がのった一皿ごと注文する仕組みだ。わたしは土曜日の昼にときおり行ったが、いつもいっぱい。いつもうまいものを食べることを苦にしないのが関西人だと納得してしまう。

コリアン街にある「寿し吉」(鶴橋)は創作寿司で、出てくる寿司に感動してしまった。たまに行くなら「平野」(曾根崎新地)や「む田」(京町堀)。おでんなら「わか芽」(京町堀)か「のとや」(福島)。田舎料理というか惣菜料理なら「花舎」(北久宝寺町)か「串庵」(曾根崎新地)。ちょっとしたつまみがたくさんあり、こうした店で男女問わず、周囲を気にせず一人で食べて飲んで、店員と話して帰る人をたびたび見かけたが、それも大阪らしさだと感じていた。

大阪らしいといえば焼肉だが、なかでも「請来軒(ちんらいけん)」

(十三)は雑然としたなか食べるので、つられて多く食べてしまう。大阪といえば、韓国料理もよく誘われた。「福一」(桃谷)や「韓味一」(桃谷)はリーズナブルでうまい。やや高級になってしまいが、関西料理をしっかりと食べるには、「榊田」(心斎橋筋)か「宝来慶喜」(曾根崎新地)、「節」(島之内)。ふぐなら「清住」(市岡)。ここは入り口の電灯も点灯しておらず、わかりにくい、いつも満員。大阪の食はなかなか味わい深いと思わずにはいられなかった。

と、いろいろと紹介してきたが、わたしは大阪の食生活が楽しい理由があると思っている。それは、うまみ調味料である「笑い」がふれているからである。また、大阪に戻ってきたときは、笑いのなか、おいしい食にありつきたいと願っている。

辞めて一ヶ月後に転居した。昔なら、完全に「下関の人」になるのだろうが、今は、メールというものがあがり、大阪で親しくお付き合いいただいた方々とは、まだまだつながっている気分だ。だから、気分はまだ「大阪人」のままのようだが、言葉は自然と方言を意識せずに出てくるのが不思議だ。

約半年前に、環境考古学の安田善憲氏の、「現在の文明は、あと五十年後には滅びる」という論説に愕然とし、これからどうすればよいのだろうと思いを巡らせた。氏の説に従えば、「森と水を守り育てる活動をせよ」ということになる。

今は、下関で、親が残してくれた少しばかりの畑と山があり、かなり荒れた状態であるので、これをもっと良い状態にすることで、少しは氏の説に従うことになるのかと思ったりしている。

自己満足の範疇でしかないことは、重々承知だが非力な私には仕方がない。

今の自分が大阪にいたらどのように行動していたらだろうか？

里山を守る活動をしている団体などがあるので、参加することを考えたかもしれない。

食糧危機が叫ばれて久しいが、深刻化した場合、大阪はどうなるのか？二人の子供は大阪に残っているの、心配であったりもする。都会で便利に暮らしていると、楽観的に考えがちだが、生き延びるための知恵をつけておくことが必要なのではないだろうか。

大阪は、再開発はしても、新たな開発はしてはならないと思う。際限なく発展を望む欲望が何をもたらすか……

人類は、自らの欲望で、自らを滅ぼしてしまうかもしれない、などと考えながら、とりあえず生活をしている。

通る私は「ああ中村さんのご主人」と呼ばれ、「奥さんがタコ焼き買う順番を譲ってくれたよ」といった話をしてくれた。

二十一年前に大阪で経済記者として歩み出し、経済部長で戻ってきた私が耳にタコがで、聞き飽きた話がある。やれ景気が悪いだの、企業の東京移転だの。地盤沈下が止まらない。そして、活性化だ、起爆剤だ、と。

大阪は本当に衰退しているのだろうか？

人口動態や域内所得、工業出荷高といった統計数字からみれば「イエス」かもしれない。しかし、東京や横浜、名古屋にわが妻を魅了し、別れに涙させる何かがあるかと問われれば大いに疑わしい。

未曾有の不況の中で、世界は「成長」や「利益」を追い続けることが危うく、長続きしないことに気づいた。新たなキーワードは「分かち合い」や「結びつき」、そして「共生の経済」とも言われる。

それは、大阪に住んでいる人が日々の生活で実感する、なじみ深いものではないか。

妻に楽園と言わしめた何かとは、大阪が培ってきた人の力と言うべきものだろうが、それは広い意味での「経済力」「豊かさ」にはかならないと思う。みなさん、どうか嘆くのはやめ、自信を持ってほしい。大阪が輝く時代が再びめぐってこようとしているのだ。

気分はまだ「大阪人」

岩間 之三(四十三期)



大阪で暮らすこと約四十年、下関に帰ることはないという人生設計を修正することになり、仕事を



〒530-0003
大阪市北区堂島1丁目3-33 北新地萬年ビル2階5
(堂島通り・国際モータープール隣)
TEL:06-6344-2648

旭陵同窓会の皆様
新地の片隅のレトロな店です
お気軽にご利用下さい
アルル
深川 れいこ

旭陵同窓会の皆さま
ポケットです
よろしくお願いたします



PIANO BAR Pocket
北新地スタービル9F
TEL.(06)6345-3996

〒530-0002 大阪市北区曾根崎新地1-11-19(北新地スタービル9F)

関西支部設立十五周年

今年に関西支部が設立されて十五年になります。設立当時の経緯、思い出を、内藤さん、瀬戸口さんに寄せていただきました。

「関西旭陵同窓会」設立の経緯

編集者から本題について書く依頼があった。しかし、与えられた字数が極めて少ないことから簡潔書きにする。

平成六年一月一七日石坪英郎(十八) 先輩から呼び出しがあり甲斐敏晴(三十一)と私は京都のRホテルに行った。お互いに初対面であった。

石坪「同期の加藤康憲同窓会会長から、東京及び主要都市には支部があるが関西にはなく残念である。是非とも支部を設立してもらいたい。ついでには甲斐君に話して協力を頼んでもらいたい。」

なお、支部長及び副支部長は本部で人選をする。」と話があった。私達も支部設立に異議はなく賛同をして、早急に設立準備に取り掛かることにした。

翌日から私は役員候補等を求めてあちこちに電話をした。

同年(以下略)三月五日「同窓会設立会議」を本部からの指示で大阪西天満の「紫苑」で開催。本部から加藤会長以下役員が五名と



関西支部設立総会 1994年10月14日

関西から空谷俊和支部長(二十七)瀬戸口猛副支部長(三十)、私達三名を含み二十二名が参加した。この二十二名のうち、私が当時知っていた人は八名だけであった。出席を要請したのは私のようであるがその記憶は全くない。

加藤会長は写真が趣味で当日撮られた全員の写真が手元にある。四月八日設立総会の「太閤園」に甲斐、栗屋保昌、瀬戸口房康(共に三十二) 福田猛彦(三十五)と私で下見に行き打ち合わせをした。ここに決まるまでは会場探しにあちこちのホテル等を訪ねた。

瀬戸口 房康(三十二期)

内藤先輩から、旭陵同窓会関西支部を立ち上げたいので、三十二期として協力の要望があった時の胸の高鳴りは、今も鮮明に十五年余の時空を超えて甦ります。

その当時、三十二期の関西在住は、五十数名で、年に一回勢揃いしては、母校(二年生で男子は西高、女子は南高に分離で、同期会には女性も出席)や、下関の思い出を、酒盃を手に語り合っていました。

同窓とも、幅広く集まりたい願望も、出ていました。まさにそのタ イミングの内藤先輩の連絡で、燃え上がりました。同期として、栗屋君(残念ながら四年前に鬼籍に)と諸先輩や後輩との打ち合わせの会合を重ねて(その後の飲み会も楽しかったですね)太閤園で設立総会開催に漕ぎ着けた時の感動、感激、感慨深さ、あの思い出深い、西高時代の甘酸っぱい青春が、この大阪で再現している!

四月九日頃から「同窓会名簿」より関西在住者を選び出す。約八百人に五月十四日「太閤園」で設立総会を行う案内を往復葉書で送付する。ほぼ私一人で宛名書き等をしたが何故か日記には全くこの記載はない。

五月六日役員会を「太閤園」で開催。支部長・副支部長以外の役員を次のとおり決定した。幹事長内藤。事務局局長兼会計甲斐。会計監査石坪。常任幹事十四名。五月十四日(土) 大阪市都島区「太閤園」で設立総会を正午(十五時)まで行った。

関西の同窓生百四十五名出席。来賓 天野勝範校長。加藤会長及び本部役員四名。来賓から祝辞を頂いた。空谷支部長挨拶の後同窓生が和気藹々の中でお互いに語り合い至

西高卒業生として、旭陵同窓会関西支部設立に、いささかでも参画できた充実感が、太閤園の周囲の清々しい緑の深さと共に胸中に眼に、染み込み生涯記憶に残る予感がしました。西高を卒業して三十九年の月日が流れていました。

それから、回を重ねて昨年で十五回、杉新支部長選出、後輩達の元気で誠意溢れる世代交代をなした役員旭陵同窓会関西支部運営に安堵して、出席できる幸せに、目を細めている、西高卒業生の自分がいます。

設立に誠心誠意、ご尽力された空谷、甲斐、内藤他諸先輩、後輩に、深い感謝を捧げながら、当時の思い出の記とさせて頂きます。

瀬戸口も高く青春の幸を讃えて逝くものを。(旧制五高寮歌より)

旭陵同窓会関西支部役員(案)

	氏名	期	電話番号	勤務先
支部長	杉 顕紹	43	06-7670-5292	東洋化成工業
副支部長	福田 猛彦	35	0725-50-5090	近畿ディベロップメント
同	村上 充昭	39	06-6365-7005	村上法律事務所
幹事長	竹内 正文	44	06-6441-0106	関西経済連合会
副幹事長	門田 宰	43	06-6243-2321	光アルファクス
同	阿部紀一郎	54	06-6743-7388	大阪ガス
事務局長	大野 浩史	53	06-6244-5131	SMBC債権回収
会計監査	後田 敏夫	42	06-6749-1885	鋼洋
常任幹事	上村 繁典	48	06-6748-3838	誠商会
同	中嶋 洋	49	072-690-3230	なかじま整形外科
同	来島 達夫	50	06-6375-8971	JR西日本
同	永地 英仁	52	06-6266-8039	エヌアイ帝人商事
同	田底 成智	55	06-6393-9906	中央復建コンサルタント
同	山田 浩幸	56	06-6343-3290	鴻池組
同	三戸 和子	62	06-7494-9933	自宅
同	柴田 徹也	64	06-4396-7023	プルデンシャル・ジブラルタエージェンシー
顧問	空谷 俊和	27	0775-88-3045	自宅
同	甲斐 敏春	31	072-681-5717	みどりヶ丘病院
同	内藤 尚	31	072-696-6202	自宅
同	安野 洋一	33	06-6382-1521	済生会吹田病院
同	末光 久	42	0743-76-5338	自宅

関西支部事務局 〒669-1347 三田市つづじが丘南4丁目16番14号 大野 浩史
TEL・FAX: 079-568-1535 Email:h-ohno@hera.eonet.ne.jp



設立総会当日、太閤園にて



「紫苑」での準備会



太閤園での全体写真

福の時間を過ぎた。設立総会は何としても成功させなければと数人の同窓生の手助けを受けて夢中で取り組んだ。「設立会議」から二ヶ月でよく出来たと思えました。

皆様の温かい協力により大成功で終了することが出来た。平成十七年「旭陵関西」十号の特集欄で「設立総会」と「旭陵関西」発刊の事情を編集者の求めに応じて、私が書いている。しかし、其の時には「設立の経緯」までは書いていない。

最後に、加藤会長及び栗屋常任幹事共に故人となられた。ご冥福をお祈り致します。

編集後記

◇「旭陵関西」十四号をお届けします。前回に続き、八面構成となりました。十面となるとやはり十分に構想を練り、テーマを決めた編集が必要ですね。来年は十五号。記念になる特集を組みたいと思いますが、いざとなるとなかなかまとまりません。皆さんのご希望、ご要望を是非お寄せください。広告もいつも同じ方にお世話になっていきます。是非ご協力いただきますようお願いいたします。

◇今年、関西支部設立十五周年になります。十五年前、設立総会は大坂京橋の「太閤園」で開催されました。何事も最初に「起こす」と言うことは大変なことです。関西支部設立のためご尽力いただいた諸先輩方に敬意を表します。また故郷を離れた関西で、同窓生が集える機会を与えていただいた事にお礼を申し上げます。

◇十五年という、当時学生だった人も今やばりばりの社会人。関西支部でも多くの転入・転出がありました。定年退職で、下関に帰られた方。転勤で、他地区へ赴任、あるいは関西に転入。亡くなられた方も居られます。同窓会での出会いを大切に、故郷を同じくした絆を強めたいと思います。

◇同窓会をきっかけに、同期会が多く開かれています。三十二期のように以前から同期会が行われている期も有りますが、四十三期は第三回総会がきっかけとなり、今では、いろいろ理由を付け、二ヶ月に一度は集まっています。

◇同窓会行事も、年二回のゴルフ・ハイキング、冬の日帰り旅行が定着しました。総会では、同窓生、下関関係者の講演、ジャズ・ピアノ・バイオリン等々の演奏会と言った様々な催しが行われています。是非大勢の同窓生を誘って参加して欲しいものです。(門田)